

オオタバコガ情報第2号

平成30年8月17日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

フェロモントラップで誘殺数が急増した地域があります。
今後の発生状況に注意しましょう。

1 ほ場における発生状況

8月上旬の巡回調査におけるダイズほ場での発生量は、おおむね平年並の状況でしたが、一部、発生が多いほ場があります。

2 フェロモントラップにおける誘殺状況

フェロモントラップにおける誘殺数は、安城市と西尾市のダイズほ場では、7月下旬から増加し、平年よりも多い状況です。一方、豊田市のダイズほ場では平年並です。また、碧南市のニンジン、稲沢市・豊川市のキク、豊橋市のキャベツほ場ではおおむね平年並です。

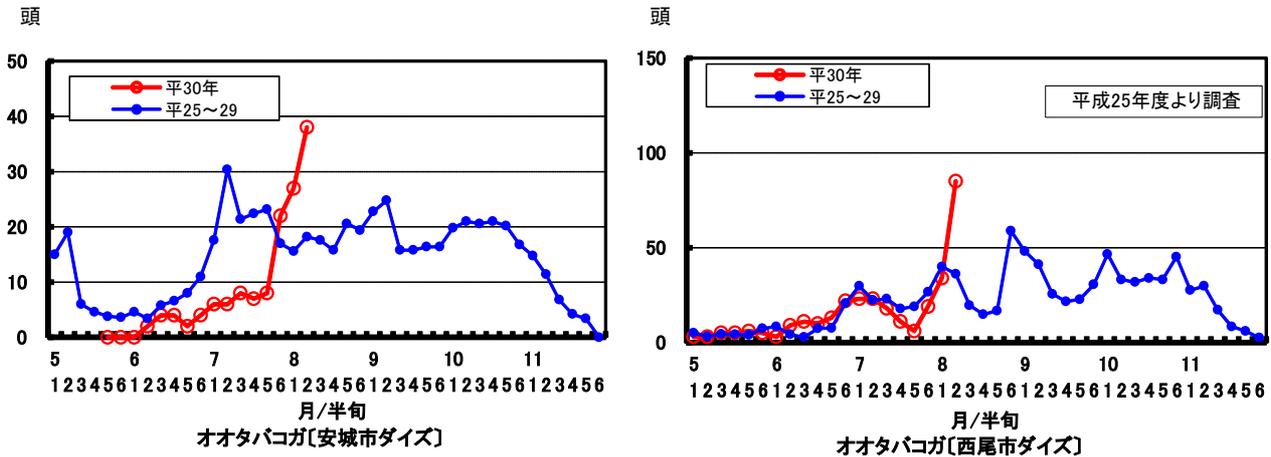


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺状況

3 今後の発生予測

名古屋地方気象台8月16日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本種の発生が増加する可能性があります。

4 防除対策

ダイズでは、発生に気づきにくく、莢も加害することから、被害が大きくなりやすい傾向があります。キャベツでは、結球内部に食入する性質があるため、結球開始前までの防除が重要です。また、キクでは、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなってしまう。

ほ場をよく観察して、早期発見に努め、登録のある農薬を用いて、若齢幼虫のうちに防除しましょう。

使用する農薬等については、8月3日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参考にし、て、防除を実施しましょう。